

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 21 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	消防出初式開催費				
担当課係名	環境防災 課	交通防災 係	作成者	石川一幸	
総合計画での位置づけ	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち			総合計画のページ
	基本計画	消防体制の充実と消防団の育成強化			
	主要施策	市消防団の組織強化			86
予算費目	一般 会計	9 款 消防費	1 項 消防費	2 目 非常備消防費	
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規/継続の区分	継続	
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				
根拠法令等	無				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直 営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	消防団
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	伝統的新春恒例行事であり、消防団の仕事始めである消防出初式を開催し、消防団の無事故無火災を祈念するとともに消防精神の更なる向上を図る。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	観閲式、分列行進を行い、式典において消防功労に対する表彰等を行う。

【事務事業の推移】

		項 目	単 位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	
効果	活動指標	参加団員数	目標	人	624	618	622
			実績	人	624	618	622
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
	成果指標	火災件数	目標	件	0	0	0
			実績	件	10	13	11
			達成度	%			
投下コスト	項 目		総事業費	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	21年度決算額(千円)	
	事業費(人件費を除く)(A)			377	2,142	1,623	
	人 件 費 (B)			1,614	1,585	1,611	
	職 員 数			0.20	0.20	0.20	
	職 員 平 均 人 件 費			8,071	7,925	8,057	
	(A) + (B) 投下コスト			1,991	3,727	3,234	
	財源内訳	国 庫 支 出 金			0	0	0
		県 支 出 金			0	0	0
		地 方 債			0	0	0
		そ の 他			0	0	0
		一 般 財 源			1,991	3,727	3,234
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)			3,191	6,031	5,199	
	市民1人当たりのコスト(円)			63	120	106	

【事務事業の今までの成果】

分列行進等、消防団員の規律正しい行動を市民の方々にご覧いただくことにより、消防団員の士気高揚はもとより、民生安定に寄与する消防団への信頼向上が図られた。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	実施している。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	不明

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
C 2	A 現状のまま継続（実施）	今一度、内容等について検討が必要であるため。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

消防団員自らが考えて行う等消防団と共に初め式全体を検討したい。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
B 2	消防団員の士気高揚と、地域住民の防火思想の普及宣伝に効果的な事業であり、内容の改善を図りつつ継続すべきと考えます。

